火山噴火から自分の身を守ろう！

年　　組　　番　名前（　　）

1.登山している時に噴火したら、どのように自分の身を守りますか？

（回答例）ヘルメットやリュックサックで頭や体（特に背中）を守る。 ※噴石対策
ハンカチやマスクで口と鼻を守る。 ※火山灰・有毒ガス対策
噴火した場所（火口）から遠ざかる方向へ逃げる。
避難小屋やシェルター、大きな岩陰などの安全な場所に隠れる。
ただちに下山する。
◎噴火を見ていない（写メを撮っていない）。 ←やってはいけないこと

学習のポイント1　噴火に遭遇した場所で、どのような被害が起こるのか具体的にイメージする。
学習のポイント2　噴火した際に、とるべき行動を具体的に考える。
学習のポイント3　山頂にいた場合、逃げる（隠れる）場所が限られることを理解する。

2.火山から少し離れた場所にいて噴火したら、どのように自分の身を守りますか？

（回答例）近くの建物（頑丈な）などへ避難する。 ※噴石対策
ヘルメットやマスクを着用する。 ※噴石・火山灰対策
那須岳からなるべく遠くへ移動（避難）する。 ※噴石・火山灰対策
噴火警戒レベルの立ち入り規制範囲から外へ避難する。
建物の中から外に出ない（むやみに外出をしない）。
テレビやラジオで那須岳のこと（活動状況）を確認する。

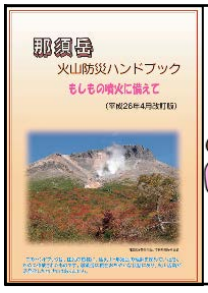
学習のポイント1　自分のいる場所が、危険な地域内の場合、どのような被害を受けるか具体的にイメージする。
学習のポイント2　危険な地域内（噴石はが飛散する）にいる場合の、とるべき行動を具体的に考える。
学習のポイント3　危険な地域外へ避難しなければならないことを理解する。

3.安全な場所にいて噴火したことを知った時、その場で何をすればよいですか?

（回答例）テレビやラジオで那須岳のこと（活動状況）を確認する。
火山の情報を見聞きしたら、むやみに外出をしない。
自分のいる場所が危険な地域ならば、直ちに安全な地域へ避難する。
大噴火に備えて非難する準備をはじめる。
自分のいる場所が安全な地域ならば、慌てて行動しない。

学習のポイント1　噴火速報・噴火警報が発表されると、どのような被害が発生するか具体的にイメージする。
学習のポイント2　噴火警報の発表によって、自分のいる場所の安全を確認することが大切であることを知る。
学習のポイント3　火山に近い危険な場所と遠い安全な場所での行動の違いを理解する。

4.火山噴火から身を守るために大切なこと（しておくこと）は何ですか？



（回答例）那須岳の噴火がどのように起こるのか、事前（普段から）に調べる。
登山する場合には、しっかり準備（活動確認も）をしてから登山する。
那須岳が噴火した場合の危険な地域を知っておき、いざと言う時に
自分で考えて行動する。
噴火した場合の避難場所を確認（家族・友人など）しておく。

学習のポイント1　火山から恩恵を受ける一方で、日頃からの備えの重要性を理解させる。

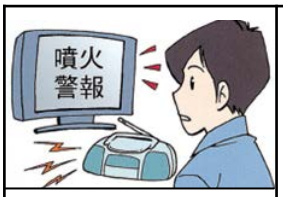
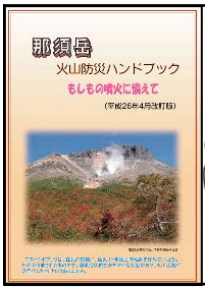
火山噴火から自分の身を守ろう！

年　　組　　番　名前（　　）

1.登山している時に噴火したら、どのように自分の身を守りますか？

2.火山から少し離れた場所にいて噴火したら、どのように自分の身を守りますか？

3.安全な場所にいて噴火したことを知った時、その場で何をすればよいですか?



4.火山噴火から身を守るために大切なこと（しておくこと）は何ですか？